

平成28年度 議会意見交換会意見・要望等に対する回答一覧表



登米市議会で平成28年7月13日（水）及び7月14日（木）の両日、市内9会場において開催した意見交換会には、125人をご参加下さいました。

今回のテーマ、『登米市の魅力再発見～シティプロモーションについて考える～』に対するご意見のほか、市政全般にわたる、多くのご意見やご要望をいただきました。

登米市は、誰もが夢や希望で笑顔に包まれ、豊かな自然と調和のとれた生活環境の中で、登米市に住み続けたい、住みたいと思うまち、『あふれる笑顔 ゆたかな自然 住みたいまち とめ』を目指しています。

議会としても、この実現のため、皆さんからの貴重なご意見をもとに、登米市の知名度向上・イメージ確立に取り組むと同時に、より良いまちとなるよう、なお一層の研鑽を積んでまいります。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
①議会運営、議員	①迫町	タブレット端末利用もいいが、全員の議員が活用できるのか。できない人はどうするのか。	議会	研修会等を開催し、全員が活用できる体制を構築していきます。
		経費削減のため、タブレット端末を使用するのは大変良いことだが、セキュリティはどのようにしていくのか。	議会	個人ごとに、パスワードを設定し厳重に管理しています。
	②登米町	議会改革が宮城県第2位の理由は。	議会	いかに情報公開されているか、住民がどの様に参加しているかがポイントとなっています。通年議会、タブレット導入、意見交換会などで出た意見をまとめて市に政策として上げていくなど、総合的に評価された結果と理解しています。
	④中田町	議員のタブレット端末使用は、セキュリティ上問題がないか。	議会	個人ごとに、パスワードを設定し厳重に管理しています。
	⑥米山町	タブレット端末導入について、情報漏えいがおこらないようしっかり取り組んでもらいたい。	議会	
		議会として、これまでどういう改革をしたのか。	議会	意見交換会の開催、タブレット端末の導入、情報公開等を行ってきました。
		タブレット端末導入は、ウイルス対策も含んだ予算なのか。	議会	ウイルス対策を含めて、予算措置しています。
	⑧南方町	議会の特別委員会で地域医療について関係者からアンケートをとった。それを公表するということだったが、結果はどうだったのか。	議会	資料は、後日個人宅に直接お届けいたしました。
議会改革ランキングが上がったのはなぜか。栗原市は何位か。		議会	早稲田大学マニフェスト研究所の評価基準で行ったもので、通年議会やタブレット端末の導入も評価されたものと受け止めています。なお、栗原市については、県内で8位となっています。	
②意見交換会	①迫町	意見交換会が、コミュニティ単位から町域単位になったのは何故か。	議会	ある程度人数がいた方が、活発な議論となると考えたためです。
	②登米町	なぜ意見交換会の参加者が少ないのか。もっと多くの人に参加してもらうように工夫してもらいたい。	議会	ご意見として、拝聴いたします。
	⑥米山町	会議等において、シティプロモーションをはじめとするわかりにくい用語が多い。わかりやすくはできないか。	議会	今回の意見交換会のシティプロモーションについては、資料に用語の解説を入れさせていただきました。国の取り組みの中で横文字の用語が多くなってきております。私たちとしても市民の皆様に理解していただけるよう、努力していきたいと考えています。
③庁舎建設	①迫町	庁舎建設の問題は何時まで議論し、結論はいつに。	総務部 総務課	特別委員会で候補地選定や、建設の是非について議論中です。
	③東和町	新庁舎建設が計画されているようだが、今ある庁舎を有効に利用した方がいいのではないか。	総務部 総務課	特別委員会で候補地選定や、建設の是非について議論中です。 執行部には、それぞれの支所を有効に活用するよう要請します。
	④中田町	新庁舎建設の住民アンケートを是非してほしい。	総務部 総務課	議会は、執行部に対して、何らかの形で市民の意見を聞く機会を持つよう要請します。
		新庁舎建設問題は、どこまで進んでいるのか。	総務課 総務課	特別委員会で候補地選定や、建設の是非について議論中です。
		現在の分庁舎を活用すれば、新庁舎は必要ないのではないか。	総務部 総務課	
		新庁舎は、現在の迫市街地への建設が決まったのか	総務部 総務課	
	⑤豊里町	新庁舎建設は決まったのか。また、予算はどれくらいか。	総務部 総務課	議会は、執行部に対して、何らかの形で市民の意見を聞く機会を持つよう要請します。
	⑦石越町	新庁舎建設について、市民アンケート調査などをすべきではないか。	総務部 総務課	
新庁舎建設の前に、子育て支援の充実や水害を未然に防ぐことなど、他にすべきことがあるのではないか。		総務部 総務課	特別委員会への提言として受け賜わり、執行部にもその旨伝えます。	

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
④シティプロモーション	①迫町	シティプロモーションを進めるには、他地域との交流人口を増やすのが一番の政策ではないか。	企画部 企画政策課	シティプロモーション事業として、委員会で継続調査を行います。
		シティプロモーションはあまりなじみがない。市に問い合わせるとホームページを見て下さいと言われたが、見る手段がない人には理解できない。	企画部 企画政策課	
		シティプロモーションはどのような方法で行っていくのか。栗原市では1億円を使い、マスコミを利用し、観光客誘致に成功し、4割の増客となっている。行政・議会・民間が三位一体となってすすめていくべきではないか。	企画部 企画政策課	
		登米市のシティプロモーションは、もっと山・川・自然を生かしたセールスをしていくべきではないか。	企画部 企画政策課	
	②登米町	登米市の魅力は、それぞれの町のいい所がたくさんある。それを市民に知らせ、発信していく事が必要。栗原ではテレビ・ラジオで宣伝している。登米市もできないか。	企画部 企画政策課	
		30代、40代の若い世帯に優遇するのもいいが、定年して帰って来たり、年をとってから登米市に戻って来て住むという計画があってもいいのではないか。	企画部 企画政策課	
	④中田町	シティプロモーションに3千数百万予算計上しているが、具体的に何の予算として活用していくのか。	企画部 企画政策課	
		シティプロモーションは、コミュニティ単位で様々な政策を作っている。地域づくりとリンクしてはどうか。	企画部 企画政策課	
		登米市の観光特区として、登米町を活用してはどうか。	産業経済部 商業観光課	
	⑦石越町	栗原市と比べ、登米市は宣伝が足りないのではないか。	企画部 企画政策課	担当部署へ確認したところ、「農業体験交流事業の拡充に当たっては、何よりも受け入れ先の確保が重要であることから、登米市グリーンツーリズム推進協議会と連携、協力し今後も、広報紙での会員募集や個別の勧誘活動などを通じて、事業に賛同、ご協力いただける農家等の確保に取り組んでいきます。」と回答がありました。
		楽しい夏祭りをたくさん行い、若い人に来てもらうようにしてはどうか。	企画部 企画政策課 産業経済部 商業観光課	
		最近、体験型農業に関心を持っている人が多い。グリーンツーリズムでは、普通の米や野菜、水が子どもたちに喜ばれており、「また来る。」と喜んで帰って行く。皆さんの協力をもらい、交流を維持していくためにも、しっかり情報発信してはどうか。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「チャチャワールドいしこしは、市内最大のレジャー施設として大人から子供まで安心して楽しめる遊園地です。また、チャチャワールドいしこし内のあじさい園は、登米市の初夏の観光資源の一つとして毎年多くの方に来場いただいています。今後も、指定管理者である㈱いしこしと連携し、一年を通じて訪れていただけるよう積極的な周知に努めます。」と回答がありました。
		石越には、あじさい公園やチャチャワールドなど良いところがたくさんある。しかし、あじさいが咲いている時に入園を断られたことがある。良いところをもっと大切にして、宣伝するべきではないか。	産業経済部 商業観光課	
	⑧南方町	市の千本桜への交付金がなくなったのはどうしてか。	企画部 企画政策課	シティプロモーション事業として、委員会で継続調査を行います。
		宮城の明治村では、関係者が明治時代の服装を取り入れてはどうか。	産業経済部 商業観光課	
		災害があっても何とかなる地域は少ない。登米市は安全なこと、米があり、水があり、空き家もあり、受け入れできることをアピールし、その交流を通して農産物を販売してはどうか。	産業経済部 農産園芸畜産課	
⑤コミュニティ、集会施設、公民館	①迫町	新田地区で開拓70周年記念碑を造りたい。90万円ほどかかるが、市からの補助金などは活用できないか。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「地域づくり事業に関しましては、各コミュニティ組織で策定している「地域づくり計画」に基づき、「がんばる地域づくり応援交付金」を財源として実践いただいています。要望がある事業につきましては、地域づくり事業に該当するのであれば、「がんばる地域づくり応援交付金」を活用していただきたいと思います。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑤コミュニティ、集会施設、公民館	④中田町	地域づくりは300万円の予算で、人件費が大部分。事業費は50万円。残金は返金というのはおかしいのではないか。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「集落支援員設置業務委託につきましては、国の制度に基づき実施しており、支援員一人当たりの財源手当が350万円(特別交付税措置)となっています。この財源は、制度上、集落支援員の経費にしか当てられず、残額が生じた場合は市へ返還となります。なお、地域づくり事業に関しましては、「がんばる地域づくり応援交付金」でご対応願います。」と回答がありました。
	⑦石越町	青少年健全育成予算が減額された。地域の活動の実情に合わせて予算化してもらいたい。	教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「青少年健全育成予算が減額されたとのことでありますが、青少年のための登米市民会議(以下「市民会議」という。)の支部補助金のことと捉え、お答えします。 市民会議の補助金は、平成25年度に各支部間の補助金の平準化を図るため、均等割、世帯割、事業割を算定基礎として補助金額を算定することを、市民会議の執行部会で決定しています。そのことから、平成26年度から30年度までの補助金の算定基準を定めていますが、事業割については年々減少していく算定基準となっているため、石越支部は事業実績からみますと結果として補助金は減額となっています。 平成31年度以降の各支部補助金の算定方法につきましては、改めて検討することになりますので、これまでの活動実績を勘案して決定します。」と回答がありました。
	⑨津山町	一括交付金制度になり仕事も増えているのに、公民館の館長は非常勤で、ボーナスも出ない。館長を常勤にし、きちんと待遇するべきではないか。これでは後が続かない。	教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「公民館の館長の業務につきましては、年々増加傾向にあり、また、コミュニティ組織に係る業務も拡大しています。教育委員会としましても、管理責任者としてあるべき職務内容や現状における勤務実態を詳細に調査し、適切な処遇について検討します。」と回答がありました。
⑥教育	③東和町	小中一貫校、東和にできないか。	教育委員会 教育企画室	担当部署へ確認したところ、「学校再編につきましては、平成27年11月に策定した登米市立小中学校再編基本方針に基づいて進めてまいります。小学校・中学校とも、原則として各学年2クラス以上を適正規模の学校と考えております。」と回答がありました。
	⑨津山町	幼保一元化は簡単にできるのになぜできないのか。津山の場合、なぜできないのか。柳津にもっていけばいい。	福祉事務所 子育て支援課	幼保一元化になるよう、努力していきます。
		児童施設が貧弱だ。登米市全体を見回しても津山は弱い。議員は認識してほしい。	福祉事務所 子育て支援課	ご意見として、拝聴いたします。
⑦公共施設、跡地利用	①迫町	旧米山高校跡地はどのように活用するのか。費用対効果はあるか。	企画部 企画政策課 建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「旧校舎と敷地については、学校法人 三幸学園(東京都)が、主に通信制高校を運営することとしており、年間約600万円で貸付ておりますが、事業内容は「人づくり」に重点が置かれておりますので、事業効果が見えてくるまでは時間を要するものと考えております。 また、人口減少への対策の一つとして、移住・定住希望者に対し良好な住環境を提供することで、市外からの移住や市外への転出抑制を図るための宅地造成、分譲地として活用します。 なお、道路をはじめ公共施設部分を除き分譲宅地に係る費用については、販売価格に転嫁する予定であり回収できるものと見込んでいます。」と回答がありました。
		新田地区総合運動公園の中のトイレが古く、利用できない。改善してほしい。	教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「新田総合運動場のトイレにつきましては、簡易水洗化するよう検討しています。」と回答がありました。
	②登米町	蛭沢地区に工業団地が建設される計画だが、それに合わせて工場見学に来た子どもたちが遊んだり、近くの登米高校の陸上部の生徒が練習できるよう、大きな公園を作ってほしい。	産業経済部 工業振興課・商業観光課	担当部署へ確認したところ、「現在造成している工業団地は、雇用の場を創出するため、すべて企業に売却する予定で、団地内に公園を作る予定はありません。」と回答がありました。
	③東和町	錦織小学校の屋根や外壁の塗装は、今実施しないと手遅れになり、経費も余計かかるようになる。	教育委員会 学校教育課	担当部署へ確認したところ、「市内の学校施設の修繕におきましては、児童生徒が安心安全に学校生活がおくれるよう、施設利用修繕計画を作成し実施しています。」と回答がありました。
	④中田町	旧米山高校跡地にくる通信制の学校は、大丈夫な会社なのか。3億円程で県から譲り受けたようだが、貸付けの金額と、費用対効果はどれくらいか。撤退した時の費用などはどのように契約したのか。	企画部 企画政策課	担当部署へ確認したところ、「今回、高等学校を開校するのは、学校法人 三幸学園(東京都)ですが、この法人は、通信制高校を含む専門学校等を全国に59校設置、運営しています。 また、年間約600万円で貸付けておりますが、事業内容は「人づくり」に重点が置かれておりますので、事業効果が見えてくるまでは時間を要するものと考えております。 なお、貸付契約が解除等された場合には、建物等は解体・撤去し更地の状態で市に返還することとなっております。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

(平成29年1月末現在)

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑦公共施設、跡地利用	⑤豊里町	現在、市内にあるパークゴルフ場の中には、草だらけで利用されていない施設があるが、どうなっているのか。	産業経済部 商業観光課 教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「中田北上川河川緑地公園内のパークゴルフ場については、除草作業を年7回実施しています。河川が増水した際の土砂の堆積により、コースが維持されていなかったことから、コース整備を行いました。現在は、中田町パークゴルフ協会が定期的に練習会を開催するなど、利用していただいています。 なお、現在、新たなパークゴルフ場の整備を進めていますが、完成のあかつきには、コース等の管理については、十分留意して行っていくます。」と回答がありました。
	⑦石越町	パークゴルフ場の整備地選定理由は。	教育委員会 生涯学習課	一般市民の代表二人を含む選定委員会で再評価をした結果、高森公園の方が評価点が高く、選定に至りました。
	⑧南方町	パークゴルフ場は、市の中心の平筒沼が良かった。岩手に近い石越になったのはなぜか。	教育委員会 生涯学習課	当初、整備場所を高森公園と選定した際は、5項目を評価項目として比較いたしましたが、利用者の利便性の視点も加え再評価を求める請願が米山の団体から提出されたことから、評価項目の再検討を行いました。 評価項目を20項目に増やすとともに、民間から二人の選定委員も入り再評価した結果、整備費や用地の取得容易性で差が出て、改めて高森公園に決まったものです。
	⑨津山町	懐古館の改築は、小関邸を含めた形で進められているが、取り付け道路の使用許可など、地主の許可は得られているのか。反対しているわけではないが、着実に進められたい。	教育委員会 文化財文化振興室	担当部署へ確認したところ、「地権者の承諾を得て事業を進めております。」と回答がありました。
⑧工業団地	⑥米山町	長沼第二工業団地は、完売しているのか。	産業経済部 工業振興課	長沼第二工業団地は、現在造成中であり、誘致活動を行っている状況です。また、登米インター近くに整備する工業団地については、7月11日の特別議会において、その用地取得を議決したところ です。
⑨子育て支援	④中田町	子育て政策をもっと積極的にすべきではないか。	福祉事務所 子育て支援課	本年度より多子軽減措置を拡充し、所得要件を設けずに幼稚園授業料及び保育料の負担を第2子半額、第3子以降を無料といたしました。また、第3子以降に出生したお子さん一人につき、祝い金として10万円が支給されています。その他にも昨年10月から所得制限をなくし、入院・通院ともに中学生までを対象に医療費の助成を行っています。
	⑤豊里町	認定こども園になると、所得により保育料に差が出るのか。	福祉事務所 子育て支援課	多少の差が出るようです。
	⑥米山町	子育て支援策としての誕生祝金の第3子以降の出生に対し、一人につき10万円を支給することを女性の立場でどうとらえているか。何か他の方法でいいのではと考えるが。	福祉事務所 子育て支援課	若い世代の方々への応援という意味で、良いのではないかと考えています。
		現在、市内では待機児童が何人ぐらいいるか。	福祉事務所 子育て支援課	平成28年4月1日現在で12人でしたが、10月1日現在では62人と増加しています。
		祖父母がいるため保育園や幼稚園に入れない人がいると聞いた。改善が必要と思うが。	福祉事務所 子育て支援課	祖父母がいるために入園できないということはありませんが、保育園については祖父母がいることで、どうしても入所に係る優先順位が低くなるために、定員によっては待機となる場合もあります。
⑩病院	①迫町	病院の累積赤字が100億円を遥かに超えている。責任は誰にあるのか。	企画部 財政課 医療局 企画課	市長、議会ともにあると考えています。黒字転換を目指し様々な努力をしていきます。
	②登米町	米谷病院の改革と、登米市民病院の評判の悪さはどうなっているか。	医療局 総務課	合併後の病院改革プランの変更により、米谷病院も存続することになりました。機能分担と、不足している療養病床を増やすために改築されるものです。登米市民病院の患者対応については、その都度改善されているものと考えています。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑩病院	③東和町	米谷病院だが、新しく建ってもスタッフの問題は大丈夫か。また、接続道路や側溝の現地調査をし、整備してほしい。	医療局 総務課 建設部 土木管理課	担当部署に確認したところ、「現在の米谷病院の体制はベッド数49床で常勤・非常勤合わせて61名のスタッフにより運営しております。新病院整備後の体制はベッド数90床で必要スタッフ数は86名を予定しており、25名の増員が必要になると見込んでおります。 増員が必要となる職種は医師・看護師・看護助手であり、医師については東北大学や関係機関との連携を密にしながら確保に努めてまいります。また、看護師についても病院機能を維持するためには医師の確保と同様に重要な課題となっており、看護学生に対する奨学金貸付事業を実施していくとともに、就職情報サイトの活用など、積極的なリクルート活動にも取り組み、新病院の開院に向け計画的に採用を行ってまいります。 また、接続道路に関しては、当該路線は県が管理する県道東和登米線であることから、当該路線の今後の整備について確認したところ「当該路線の整備計画はなく、歩道の整備については、現在、登米管内において数箇所、交通安全対策事業を実施しており、その他にも通学路の歩道設置要望が多数あることから、現在行われている事業の早期完成を図ったうえで、交通状況を踏まえ優先順位により事業化を進めてまいりたい」とのことでありました。 当該路線は側溝の上を歩道として使用しており、ご指摘のとおり歩道幅員が狭いうえ、蓋版の劣化・損傷により縦断方向に凹凸などが生じている状況にあります。 市としましても整備が必要な箇所と捉えており、早期の歩道整備とあわせて、事業化まで時間を要するのであれば、通行に支障となる段差箇所の解消など必要な安全対策を行っていただくよう県に要望してまいります。」と回答がありました。
	⑦石越町	市民病院の経営と繰り入れはどうなっているのか。	企画部 財政課 医療局 総務課	経営は厳しく、平成27年度決算で約19億円を一般会計からの繰り入れを行っています。
		県立瀬峰病院は残してほしい。	医療局 総務課	ご要望として拝聴いたします。
	⑧南方町	米谷病院に療養型病床を設けることは、厚労省と方向が違う。診療報酬がなくなる可能性もあるのでは。	医療局 企画課	確かに厚労省とは方向性が違うかもしれませんが、しかし、現実を見ると登米市は療養型病床が非常に少ない状況で、県でも認めていることから進めていきたいと考えています。診療報酬がなくならないように注視していきます。
		医者の確保はできるのか。	医療局 総務課	担当部署へ確認したところ、「医師の確保に向けては、医師の供給もとである東北大学や東北医科薬科大学へ幾度となく足を運び、医師の常勤配置や派遣に関するお願いをしているところですが、応援医師の派遣数は増加しているものの、常勤医の確保までには至っていない状況です。 今後も両大学との良好な関係を築きながら、総合診療医等地域に必要な医師の確保に向けた取り組みを進めてまいります。」と回答がありました。
		病院の赤字解消のためのチームを作るべきではないか。	医療局 総務課	担当部署へ確認したところ、平成28年11月に策定した「登米市病院事業中長期計画」において、さらなる経営改革とともに本市の地域医療が将来的に確保され、市民が安心して暮らせる地域社会と、地域包括ケア体制の充実に取り組んで行くとしたところです。 そのためにも人材育成と職員個々のスキルアップとともに、業務を遂行する上での組織力の強化は重要なポイントであり、良好なコミュニケーションのもと職員同士が信頼・協力しあえる職場風土の醸成に努め、一部の職員だけでなく全職員一丸となって経営改革と地域医療の充実に努めてまいります。」と回答がありました。
	⑨津山町	医療資源を集約化してきたのに、米谷病院を改築するという医療行政は矛盾しているのではないか。	医療局 企画課	合併当初、2病院5診療所とする方針でしたが、3病院4診療所とすることが第2次改革プランで承認されたことによります。
		病院の赤字はいくらか。また、累積赤字はいくらになっている。	企画部 財政課 医療局 企画課	震災以降、一時黒字の年もありましたが、平成26年度から年間約10億、累積では27年度末で約125億の赤字となっています。
		医師確保にどのような努力をしているのか。	医療局 総務課	働きやすい環境をつくることで、医師が辞めることも防ぎたいと考えています。
		医師が不足している中、津山診療所は休診した。市長のミスではないか。	医療局 総務課	担当部署へ確認したところ、「平成28年3月まで津山診療所に勤務をいただいていた医師は宮城県ドクターバンクからの派遣による2年契約の勤務でした。後任の医師確保に向け東北大学や宮城県と調整を行ってまいりましたが、医師確保までには至らず平成28年4月からやむを得ず休診とさせて頂いているところです。 一刻も早く診療を再開できるよう、今後も医師確保に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑩病院	⑨津山町	津山診療所が休診となり、もくもくバイオマス発電計画も中止になったが、いつも中止が決まってからの報告となり、中止に至る過程が市民にはわからない。中止を決定する前に、地域住民に知らせてほしい。	医療局 総務課 産業経済部 産業政策課	担当部署へ確認したところ、「津山診療所については、医師の確保や他の市立医療機関からの診療応援も含め、休診することのないよう直前まで調整したものの、結果として休診せざるを得ない状況となり、その旨は平成28年2月29日に開催された津山地区区長会において、経過とともにご説明をしてきたところです。 また、道の駅津山・もくもくランド木質バイオマス発電施設導入事業を中止することについては、関係団体等に対して説明を行っております。今後このような事案が発生した場合には、地域住民の皆様に対しましても必要な情報の提供に努めてまいります。」と回答がありました。
⑪国際交流	⑦石越町	国際交流事業は予算が多いと思う。自己負担金はあるのか。	企画部 市民協働課	青少年海外派遣事業において、自己負担金は、一人5万円となっています。
		国際交流事業に参加した生徒は、その後どうしているのか。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「海外派遣事業に参加した生徒は、事業終了後に事後研修を行い、国際交流協会が主催する国際まつりにおいて成果を発表していただいております。また、海外からの受入事業の際には、ホストファミリーとしてご協力をいただいているところです。」と回答がありました。
		国際交流事業の指導者を、公募にしてはどうか。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「市では青少年海外派遣・受入事業の実施に当たり、青少年国際交流事業実行委員会を設置しており、実行委員会は、市内中学校校長会より2名、国際交流協会より3名、PTA連合会会長、教育部生涯学習課長で構成され、実行委員内で選任された方に指導者となっていていただいております。今後の実行委員会委員の選任方法については検討させていただきます。」と回答がありました。
	⑧南方町	国際交流事業など効果があるのか。やる意義はあるのか。それを誰が評価するのか。	企画部 市民協働課	青少年海外派遣事業に、参加した生徒の皆さんにとっては、意義のあることと理解しております。事業効果は、直ぐに表れるものではないかもしれませんが、教育委員会において、検証を行い進めております。
		国際交流事業の効果はまったくないと思う。10年後、15年後にも効果が現れているとは思えない。行った生徒はレポートを書いて終わりとなっている。どこかでアセスメントを出してほしい。自己負担を出せない人は行けない。これを税金でやっているのは問題である。	企画部 市民協働課	ご意見として、拝聴いたします。今後は、議会の中で効果と評価の在り方については検討していきたいと考えています。
	⑨津山町	国際交流事業で市内の中高生を海外に派遣しているが、市は単に国際交流協会に丸投げしているのではないか。その費用対効果を検証すべきである。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「国際交流事業を効率的かつ円滑に運営するため、市では青少年国際交流事業実行委員会を設置しています。実行委員会は、登米市中学校校長会2名、国際交流協会3名、PTA連合会会長、教育部生涯学習課長で構成し、実行委員会において事業計画の立案や派遣団員の募集、選考等を行っており、国際交流協会に委託事業としてお願いしているものではございません。」と回答がありました。
⑫市民生活、健康推進	②登米町	地域の一人暮らしのお年寄りが、冬の雪かきに大変苦労している。もう少しそういう所に力を入れてほしい。	建設部 土木管理課	ご要望として、拝聴いたします。
	⑧南方町	敬老会の補助金対象年齢を元通りにしてほしい。	福祉事務所 長寿介護課	担当部署へ確認したところ、「少子高齢化により今後とも福祉予算の増大が見込まれることから、平成27年度より補助金の交付対象年齢の引き上げを行ったところです。健全な市政運営を図るための措置であり、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。
		病院がなくても健康寿命を延ばすことはできる。保健師を増やし、地域を回することで、その代わりはできるではないか。	市民生活部 健康推進課	担当部署へ確認したところ、「健康寿命延伸に向けた取り組みとしては、特に介護予防について高齢者自身が知識を身につけ、地域活動の核となれるよう人材育成を推進し、さらに社会福祉協議会や公民館等との協働の中で、リーダーの活動の場の確保や継続への支援を行っております。 このように地域力を高めるとともに、自からが健康づくりに取り組みやすい環境整備に努め健康増進を推進してまいりますので、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。
		年をとっても子どもたちに頼らず、地域で暮らせる施設がほしい。都会からもくるようにして住んで良かったと思えるものを造ってほしい。	福祉事務所 長寿介護課	ご意見として、拝聴いたします。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑫市民生活、健康推進	⑨津山町	津山診療所が休診になり、現在、豊里病院へ行くお年寄が多い。さらに以前は、住民バスが2往復していたが、今は1往復だけになったことで、帰りのバスがない。改善すべきである。	医療局 総務課	担当部署へ確認したところ、「これまで津山町から豊里病院への交通手段としての住民バスは運行しておらず、平成10年9月の旧公立豊里病院津山診療所の開設を機に豊里病院の患者送迎バスが1日1往復での運行（津山地区：月・水・金、横山地区：火・木）を開始し、現在1日約11人の患者さんに利用していただいている状況にあります。 患者送迎バスの運行にあたっては津山地域住民バスと津山診療所において接続するように運行時間を設定しており、住民バスから患者送迎バスへの乗り換えによる豊里病院への通院が可能となるよう、利便性向上に努めております。 また、豊里病院からの復路については、往路の逆順で運行しており、帰宅時の交通手段についても確保しております。 豊里病院への通院患者さんの更なる利便性向上のためにも、患者送迎バスを1日2往復運行できれば良いところですが、運転手や車両の確保の都合により、現体制では厳しい状況ですので、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。
		総合健診で、前立腺癌の検診は74歳までで、75歳以上は受けられない。石巻市では年齢制限はない。登米市も年齢制限をなくしてほしい。	市民生活部 健康推進課	担当部署へ確認したところ、「県内各市町村において前立腺がん検診を実施しており、対象者や個人負担金額については様々な取り決めのもと実施しております。 本市では50歳から74歳の男性を対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施していますが、現在、国のがん検診のあり方に関する検討会で、がん検診のあり方について議論されており、今年中には第3期がん対策推進基本計画が策定され、これから10年のがん対策のビジョンが示されることから、これらの情報を踏まえ検討してまいります。」と回答がありました。
⑬放射能汚染	①迫町	汚染稲わらの問題はどのようになったのか報告がない。	産業経済部 農産園芸畜産課	担当部署へ確認したところ、「指定廃棄物の処理については、最終処分場の詳細調査候補地である3市町が候補地返上を表明したことから、市町村長会議で一定の方向性が出るまでの間、現地調査を一時見合わせることとなりました。 現在、宮城県では8,000ベクレル/kg以下の汚染廃棄物の処理を優先して進めることとしており、この汚染廃棄物の処理が進むことで、指定廃棄物の処理に向けた取り組みが進められると考えており、最終処分の方方向性が決まり次第、国・県からの情報を示してまいります。」と回答がありました。
	⑦石越町	指定廃棄物は、汚染レベルが下がった。国の責任でやると言って5年になるのに、そのまま保管となっている現状が不安である。	産業経済部 農産園芸畜産課	指定廃棄物については、放射性物質の濃度が減衰しても国の責任で処理することに変更ありません。
⑭少子高齢化、結婚対策	④中田町	若い世代の方々の出会いの場所を提供し、もっと少子化対策をしていかなければならないのではないかと。市内の有名な場所を市外にPRすべきだ。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「結婚活動支援事業については、結婚に向けた自己啓発を支援するセミナー、出会いの機会を提供するイベントや結婚相談会を実施しております。昨年度からは、市単独事業に加え栗原市・一関市と広域連携による事業も行っており、今年度はみやぎの明治村を会場に出会いイベントを開催し、登米市のPRも行っているところです。今後も若い世代の方々に出会いの場を提供し、結婚に結びつける事業を行ってまいります。」と回答がありました。
	⑥米山町	結婚対策で、なかなか成果が上がっていないのではと感じている。そこで、当事者にどのようなことをすればよいかなど、アンケートや調査を実施してはどうか。	企画部 市民協働課	ご意見として、拝聴いたします。今後は、市に対して提案をしていきたいと考えています。
⑮上下水道	③東和町	水道管接続、地元に説明がないまま配管工事が終わり、結果、水の味が悪くなったのはなぜか。	水道事業所 水道施設課	担当部署へ確認したところ、「合併時の計画において、東和町内の浄水場へ災害時等の水道水の相互融通を目的として緊急時用連絡管を整備する事業が、合併プロジェクトとして平成20年度から着手しました。実際に、豪雨等による原水水質の悪化により水道水の水質基準を超える恐れがあった場合に、保呂羽水系の水に切り替えを臨時的に行っております。なお、連絡管による水も水質基準を満たした安全な水道水です。」と回答がありました。
⑯河川管理、道路整備	③東和町	震災後、国県道の整備が進まなくなったので、バックアップしてほしい。	建設部 土木管理課	国県道の整備について宮城県に確認したところ、「国県道の整備にあたっては、ほとんどの事業が国からの補助を受けて実施しています。しかし、改築系に係る国からの予算配分が少なくなっているため、県としては現在取り組んでいる事業の完了を最優先に考え取り組んでいます。また、県の単独事業を充てるなど工夫をしながら危険箇所の解消に向けて取り組んでいます」とのことです。 市としては、国県道の整備促進については、あらゆる機会を捉え関係機関への要望活動を今後も行っていくとのことです。 議会においても、市同様に要望活動を行っています。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑩河川管理、道路整備	③東和町	錦織から嵯峨立までの県道233号の整備に、目配りをお願いしたい。	建設部 土木管理課	道路を管理する宮城県に確認したところ、「県道東和薄衣線の整備については、毎年予算を確保しながら事業の推進を図っています。しかし、当該工事個所は急傾斜地での施行であることから時間を要しており、現在においても平成26・27年度の繰越工事を行っているところです。また、本年度の工事を発注したところ入札不調になるなど、計画どおり事業が進んでいない状況にあります。県としても一日も早い狹隘箇所解消に向け取り組んでまいります。」とのことです。 市としては、通行の安全を確保するうえで当該箇所の整備が必要であると認識されているので、機会を捉え県に要望していくとのことです。 議会においても、市同様に要望活動を行っています。
	⑥米山町	米山町内の市道のセンターラインや停まれの表示が、消えている箇所が多く見受けられる。また、通学路でも多い。ぜひ総点検を実施してほしい。	建設部 土木管理課	担当部署へ確認したところ、「経年劣化により剥離した道路のセンターラインや外側線等については、計画的に引き直しを行っているところですが、箇所や延長の多さなどから、施工が追いつかない状況にあります。 区画線は交通事故防止に重要な役割を担っていることから、引き直しが必要な箇所の把握に努めるとともに、交通量の多い主要道路のセンターラインや交差点内の区画線などについて、優先度を判断しながら計画的に改善してまいります。 なお、区画線の種類によっては道路管理者が引くものと宮城県公安委員会(警察)が引くものとに分かれており、ご指摘をいただきました停止線や止まれ標示は宮城県公安委員会(警察)が行うこととなりますので、適切に対応していただくよう所轄の警察署に要望してまいります。」と回答がありました。
		消防団で、震災前は堤防の野焼きをしていた。原発事故後はやっていないが、理由は。	建設部 土木管理課	担当部署へ確認したところ、「堤防の管理については宮城県となりますが、各町で構成している「河川愛護会」も除草や野焼きを実施しています。 震災後、放射性物質の飛散を危惧し、野焼きを自粛している愛護会もあることから、米山町でも同様の理由かと思われます。 なお、現在、米山町においても地元行事として野焼きを再開する動きがあり、消防団については出動要請を受け待機することとなります。」と回答がありました。
		県道古川登米線の、森ノ腰～登米間の改良工事が遅れている。急いでもらいたい	建設部 土木管理課	道路を管理する宮城県に確認したところ、「県道古川登米線については、約1.8kmが未改良となっており、平成24年度から米山町善王寺地区において延長約900m区間の道路改良事業を行っています。本年度は用地買収が完了した一部区間約150mの改良工事を行う予定であり、善王寺地区の完成は本年度と同様の事業費で推移すれば、平成32年度から平成33年度になる見込みとしています。また、平成28年4月に地域から要望のあった森ノ腰地区の整備については、善王寺地区の整備完了のめどがついた時期に予算要望をしていきたい」ということでした。 市としては、当該クランク箇所が現在事業区間に採択されていないことから、通行の安全確保のためにも当該箇所の道路改良が必要であると認識されており、今後も県に対し強く要望していくとのことです。 議会においても、市同様に要望活動を行っています。
	⑦石越町	夏川堤防の整備を進めてほしい。	建設部 土木管理課	担当部署へ確認したところ、「夏川の整備については、宮城・岩手両県において整備を進めており、宮城県においては、平成35年度の事業完了を目指し改修工事を実施しています。 近年のゲリラ豪雨等異常気象の頻発を受け、市としても早期整備の重要性を鑑み、登米市・栗原市・一関市の3市で構成している「迫川水系総合治水対策促進期成同盟会」において宮城・岩手両県に早期整備について要望活動を実施しているところです。」と回答がありました。
⑰税、収納	⑤豊里町	給食費の滞納は改善しているのか。	議会	少しずつですが、改善しているようです。
	⑥米山町	ふるさと納税の納税額はいくらか。	総務部 総務課	平成27年度実績では、1億2,693万円と、平成26年度に比べると10倍の増加となっており、最近では、増加傾向となっています。
	⑧南方町	国民健康保険税が高い。引き下げはできないか。	市民生活部 国保年金課	担当部署へ確認したところ、「現在、登米市の医療費の動向は、医療の高度化や高額薬剤の普及等により、年々増加している傾向であることから国民健康保険税の引き下げは難しい状況にあります。」と回答がありました。
⑱観光、移住、定住	②登米町	移住・定住者を増やすため、具体的にどのような対策があるのか。	企画部 企画政策課	若い世帯を対象に、市内へ移住・定住するため、住宅を新築または購入する場合は上限60万円、空き家を改修する場合は上限50万円、アパートなど借りる場合は月額1万5千円の家賃補助などがあります。詳しくは担当課へご確認ください。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

(平成29年1月末現在)

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑱観光、移住、定住	②登米町	鈴木邸(登米町前小路の交差点)の武家屋敷の門の「解説板」は、門の事しか書いていない。どういう人たちが住んでいたのかなど、作った時に、もっと考えてもらいたかった。	建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「旧鈴木邸の一部を譲り受け、市で門を活かした小公園として整備をしたもので、看板については有識者に意見を伺いながら作成していたものです。 現在、市では春蘭亭に隣接する旧小関邸周辺を小公園の整備や新懷古館建設などの整備を計画しております。 今後、歴史文化的価値のあるものについての表示方法の在り方については、ご意見を参考に検討させていただきたいと考えています。」と回答がありました。
		新しく予定されている懷古館の敷地内にある藁ぶき屋根の建物(茶屋)の玄関は、武家屋敷にふさわしいものに直してほしい。	建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「現在、古民家(旧小関邸)及び門・塀を改修し小公園を目的として整備を進めています。 門・塀については東日本大震災によって倒壊し、所有者が修復を行わない意向であったことから市が用地の一部を取得し、春蘭亭の門を参考に修復を完了しています。 また、古民家については複数年で改修に取り組んでおり、今年度内装工事が完了し、平成29年度に外壁や外構について整備する予定としています。 本事業は整備の途中ではありますが、周辺の景観に配慮した小公園の整備を進めてまいりたいと考えています。」と回答がありました。
	③東和町	本市出身の東京介護老人者を受け入れて、医療費などは都の委託交付金で賄い、支援できないか。	福祉事務所 長寿介護課	ご提言として、拝聴いたします。
	⑤豊里町	登米市住まいサポート事業の内容は、市外からの方が対象か。	企画部 企画政策課	市内の方も該当し、新築や中古住宅を改修した場合に補助対象となります。ただし、条件がありますので、担当課へご確認ください。
		市で宅地造成をし、安く提供してはどうか。	建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「移住・定住希望者に対し良好な住環境を提供し本市への定着を促進するため、旧米山高等学校実習農地を活用した、よねやま定住促進宅地造成事業を平成30年度の分譲を目指して進めているところです。 今後も移住定住対策の一つとして、庁内各部署と連携を図りながら宅地造成事業の実施を検討してまいります。」と回答がありました。
	⑥米山町	平筒沼の太鼓橋が通行止めになっている。造り直せないか。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「平筒沼の太鼓橋については、経年劣化により、柱、床、手摺の損傷が生じており、平成27年4月から通行止めとしています。なお、平成29年度に改修する計画としています。」と回答がありました。
		平筒沼ふれあい公園の豊里分の遊歩道で、舗装になっていない箇所があるので、早急に直してほしい。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「平筒沼ふれあい公園の遊歩道については、計画的に舗装の改修・修繕を行っているところです。なお、大規模な舗装の改修については、平成30年度に計画しています。」と回答がありました。
⑲企業誘致、雇用	④中田町	大企業や優良企業を、もっと積極的に誘致すべきだ。	産業経済部 工業振興課	担当部署へ確認したところ、「今年度末完成予定であります長沼第二工業団地へ早期に企業を誘致するため、自動車関連産業・食品関連産業・高度電子機械産業を中心とした企業誘致活動を行っております。」と回答がありました。
		工業団地を造成しているが、どのような会社ができるのか。また、工業団地の販売価格はどのくらいか。	産業経済部 工業振興課	担当部署へ確認したところ、「現在、数社から工業団地への立地に向けた相談は受けていますが、具体的にはまだ決まっていません。売買単価については、長沼第二工業団地は㎡当り10,000円としております」と回答がありました。
		もっと交通量の多い所に工業団地を造った方がいいのではないか。	産業経済部 工業振興課	担当部署へ確認したところ、「工業団地を整備するにあたり、候補地の選定については、企業の立地ニーズやコスト面等を検討した上で選定しております。企業が工場を立地する場合に重要視していることは、売却価格や交通アクセスのようであります。」と回答がありました。」と回答がありました。
	⑤豊里町	65歳以上がもっと働ける世の中にしてほしい。	議会	ご意見として、拝聴いたします。
	⑥米山町	今後はなるべく平坦で条件のいい場所への造成と積極的な誘致をお願いしたい。	産業経済部 工業振興課	担当部署へ確認したところ、「震災以降、企業のほとんどが強固な地盤の土地を求める傾向にあります。そのため平坦地の優良農地以外(山林等)を選定しております。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

（平成29年1月末現在）

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑳まちづくり	⑨津山町	各支所に10億円規模の予算をつけることで、それぞれの支所が活性化すると思うが。	総務部 人事課	担当部署へ確認したところ、「少子高齢化などに伴う人口減少に加え、地方交付税の算定替えによる歳入減など行政における経営資源の縮小が見込まれる中において、持続可能なまちづくりを進めていくためには、地域が主体性をもって公共を担う仕組みづくりが必要となります。 このため、今後、総合支所は「地域づくり支援業務」「市民の生命と財産を守る安全・安心に関する業務」「市民の健康長寿・相談・窓口業務」の3業務に特化し、地域の自立支援等に重点を置いたコンパクトな運営に取り組むこととしていることから、大きな規模の予算措置は予定しておりません。」と回答がありました。
㉑農業振興	④中田町	登米市産牛をもっとPRすべきではないか。	産業経済部 農産園芸畜産課	担当部署へ確認したところ、「市、JAみやぎ登米、肉用牛生産団体で設置する登米市和牛振興協議会を通じて、東京・仙台市場での購買者との交流会や、各種イベントの協賛と参加により登米市産「仙台牛・黒毛和牛」のPRをするとともに、登米市産業フェスティバルでは、登米市産「黒毛和牛」の試食販売を再開するなど、市内外においてPR活動を行ってきております。今後も登米産牛の品質のPRと販路拡大、消費拡大に向けた取り組みを一層進めてまいります。」と回答がありました。
㉒財政	①迫町	病院事業と下水道事業は、毎年数億の一般財源を投入しているが、改善の見込みと今後の改善策は。市長の責任ではないか。	医療局 企画課 建設部 下水道課	担当部署へ確認したところ、「下水道事業のうち、農集排事業は平成29年度で完了し、公共下水道事業は平成37年度の完了を目指して整備中であり、計画区域以外では市設置型の合併処理浄化槽を設置していますが、公共下水道事業が完了すると建設投資は合併浄化槽の設置と施設の更新等が主な事業となります。 また、現在までの建設投資に係る起債の償還金についても、平成32年度以降は減少していく計画となっています。 しかしながら、維持管理費は整備が進むことにより増加傾向にあることから、今後も安定的で持続可能な事業となるよう経営の健全化と施設の有効利用を図るため、未接続世帯の接続促進による使用料の増収や老朽化施設の計画的な長寿命化対策等での維持管理経費の平準化についての取り組みを進めてまいります。 また、公営企業として自らの経営状況を正確に把握したうえで、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むため、平成32年度からは下水道事業に地方公営企業法を適用することとしています。 次に、病院事業に対する一般会計からの負担については、国が定める基準及び市病院事業中長期計画に基づき行っておりますが、医師不足の解消や、経営基盤の安定化に向けた経営改革に取り組みながら、その縮減に努めていくこととしております。」と回答がありました。
				担当部署へ確認したところ、「合併以来、分庁舎による市民サービスの低下や設備の老朽化等、現庁舎が抱える様々な問題等の検証を行うとともに、新庁舎の建設には多額の費用が見込まれることから、「長寿命化や増改築」なども含めて、将来的な財政負担等も勘案しながら検討した結果、合併特例債活用期間内において新庁舎の建設を目指すものであります。今後も、長期的な視点に立ち、持続可能な財政運営に向けた取り組みを行っていきます。」と回答がありました。
	⑦石越町	新庁舎を建設するというが、病院事業経営など苦しい状態である。財政的な危機感を持ってほしい。	総務部 総務課 企画部 財政課	自治体の借金返済にかかる元利償還金と、一時借入金の利子です。地方公共団体金融機構及び銀行、農協などが引き受け先です。金額では65億円、全体の13.2%となっています。
		病院事業に一般会計から繰り入れしていることを、市民に知らせるべきではないか。	企画部 財政課	市広報や市議会だより等にて、お知らせをしております。
⑧南方町	③東和町	公債費とは何か。公債はどこが引き受けているのか。	企画部 財政課	空き家バンク制度があるものの、登録者が少ない状況です。市民皆さんに活用していただきたいと考えています。
		防犯協会の補助金が減らされている。補助金の適正化委員会は機能しているのか。	市民生活部 市民生活課	補助金については、市の補助金適正化審査委員会で決定されています。
㉓空き家対策	②登米町	だんだん地域の戸数が減り、町内会運営が難しくなった。空き家対策はどのようにしているのか。	企画部 企画政策課	登米市には多くの山林がある。この活用をすべきではないか。
㉔補助金	①迫町	登米市には多くの山林がある。この活用をすべきではないか。	産業経済部 産業政策課	登米市は市全体面積の4割以上が山林です。他市の取り組み状況を調べるなどし、有効な活用ができるよう政策に生かしたいと考えます。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

(平成29年1月末現在)

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑦その他	②登米町	最近熊が出てくるということが頻繁に起きているが、どういう対処をしているのか。事故が起きてからでは遅いので、素早い対応・処置をしてほしい。	産業経済部 農産園芸畜産課	担当部署へ確認したところ、「本市内におけるクマの生息状況について、県ツキノワグマ保護管理計画では、東和町の一部地域で生息が確認されておりますが、市内では4月6日から11月10日までの期間で迫、登米、東和、豊里、石越、津山の各地域で、44件の目撃や足跡の情報が寄せられており、平成27年度の目撃情報が2件のみだったことを踏まえると、今年度は急増しております。 市では、クマの目撃情報等が寄せられた場合は、市民の皆様の安全を確保するため、速やかに防災行政無線放送や防災メール等で注意喚起を行っております。また、クマが市街地や集落、農地付近に留まるようであれば、箱わなによる捕獲を実施してまいります。 個人でできる対策としては、ツキノワグマは基本的には臆病な性格ですので、山林付近に外出する際には、音が鳴るものを身に着けるなどして、人間の存在をアピールし、クマを近づかせない対策をしていただきますよう、お願いいたします。」と回答がありました。
		女川原発再稼働ということが言われているが、どう考えているのか。	議会	全会一致で再稼働反対の意見書を提出しています。
		町内会(羽沢地区)で砕石の事が問題となっている。東北石材会社が、26年2月26日から30年2月23日までの契約をしている。それには、市は「何ら意義はありません」という意見をつけている。町内会では、平成5年から粉じん、道路の汚れ、ダンプの往來の問題などがあり、市の考えに不信感を持っている。議会として調べてほしい。	産業経済部 工業振興課 市民生活部 環境課	砕石の認可を行っているのは宮城県です。本市では、その認可にあたり事前に県と協議を行っていますが、その回答には意見を付しており、手続き的に問題はありません。 許可どおり履行されているかどうか確認するのは、砕石を認可している県であることから、まずは当事者である地域から、許可者である県と協議すべきと考えます。
		給食の材料は、登米市の業者は18%しか納めていない。他市からの業者に賦課をかけられないか(手数料として)。	教育委員会 教育総務課	担当部署へ確認したところ、「いろいろな物品を業者から納入してもらう際、国内産業の保護を主目的とする保護関税のように上乘せする仕組みはありません。登米市には新鮮で安心な食材が豊富にありますので、今後も学校給食に利用していきたいと考えます。なお、平成27年度における学校給食への市内業者からの納入割合は、金額ベースで27.4%、重量ベースでも28.1%となっているところです。」と回答がありました。
	③東和町	プレミアム商品券【とめっこマネー】を、新たな道の駅など地元で使えるようにしてほしい。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「とめっこマネー事務局である登米市振興協同組合と協議し、市内道の駅での取り扱いを促してまいります。」と回答がありました。
		震災時の文化財の修復の際、地域住民にあまり負担がかからないように進めてほしい。	教育委員会 文化財文化振興室	担当部署へ確認したところ、「その時の状況に応じ、負担があまりかからないように検討します。」と回答がありました。
	⑤豊里町	災害時の断水対策として有利な国庫補助を利用し、旧町域ごとに100トンの配水層を設置してはどうか。	水道事業所 水道施設課	緊急連絡管の接続や新たな配水池が整備され、断水の心配が軽減されています。
		道の駅三滝堂が整備されるようだが、市単独で運営するのか。南三陸町などと共同で運営するのか。	産業経済部 商業観光課	指定管理者により運営されます。
		豊里町のパークゴルフ場は、100円でも利用料を徴収した方がいいのではないか。	教育委員会 生涯学習課	公園内の施設であることから、利用料を徴収することはできません。
		スクールバス4台のうち、2台は古く冷房がない。更新できないか。	教育委員会 学校教育課	現在は市直営となっていますが、いずれ民間委託の方針であり、更新の考えはありません。
	⑥米山町	女川原発が再稼働する場合、登米市としては賛成か。	議会	登米市議会としては、反対を訴えています。
		昨年、区長を対象に宿泊施設に関する調査があった。その後何も無いが、どうなっているのか。	教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「宿泊可能施設に関する調査につきましては、平成28年度に長沼ボート場において、「全日本大学選手権大会」(ボート競技)の開催が予定されていたことから、宿泊施設として利用可能な施設の調査をさせていただきました。しかし、「全日本大学選手権大会」ではなく「全日本新人大会」に変更となり、参加者数が少なくなったことから、宿泊施設を確保する必要がなくなってしまうました。区長さん方へ調査後の報告をしておらず、大変失礼しました。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（分野別集計）

(平成29年1月末現在)

分 野	会場町	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
⑦その他	⑥米山町	米山の相撲協会で東北四県の高校相撲大会を開催しているが、宿泊場所がない。公民館や平筒沼youyou館に宿泊していたが、指定管理になり、泊まれなくなった。しかたなくなかだアリーナを借りたが、これまでより高くなった。これまで通り指定管理の施設でも宿泊できるようにしてほしい。また、その他の使用していない施設でも宿泊できないものか。	教育委員会 生涯学習課	平筒沼youyou館等は、これまでは宿泊することが可能でした。しかし、一昨年川崎市の施設で発生した火災を受け、迫町のふるさと交流館に査察が入ったことから、市内の他の施設も利用の見直しを行った結果、宿泊できなくなったものです。建築基準法の関係によるものです。 なお、平成28年12月定期議会において、修繕に向けた設計業務の予算が、議決されたことから今後改修工事が行われることにより、従来どおりの利用が可能と思われます。
	⑦石越町	石越総合運動公園の遊具の修理が遅い。いつまでも直らないので、直して欲しい。	教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「石越総合運動公園の遊具につきましては、平成29年度に修繕を行う予定としています。」と回答がありました。
		農業で規模拡大を言うが、増えたのは機械と面積と借金で、所得が増えていない。消費税率引き上げ反対を求める意見書の提出をしてほしい。	産業経済部 産業政策課	国の動向を見ながら検討していきます。
	⑧南方町	大嶽交流広場から遊具がなくなったので、また作ってほしい。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「市内の観光公園にある遊具の修繕にあたっては、損傷の程度や緊急性及び利用状況により修繕又は撤去の判断をしています。また、新たな遊具の設置においても、利用状況や設置費用等を勘案し、設置する場合には修繕計画に掲載し計画的に修繕していくこととしております。」と回答がありました。
	⑨津山町	登米町に震災で出た大量の鉄くずが積み上げられている所があるが、市で管理しているのか。	市民生活部 環境課	市で管理はしておりません。個人業者が管理している物です。
	⑨津山町	区長会の「あて職」が多すぎて負担が大きく、大変である。	総務部 総務課	担当部署へ確認したところ、「各町域とも概ね、市教育委員会の青少年健全育成関係、地区交通安全、防犯関係、社協等関係団体の委員等約10役職程度、団体の委員をお願いしている状況にあるようです。 今後とも、協働の観点から地域団体の活動との連携は重要ですので、行政が関係するものについては、総合支所・関係機関と協議を行い、区長会長等一部の方々に出来るだけ過重な負担とならないよう取り組んでまいります。」と回答がありました。
		区長会の会長をやっているが、仕事(あて職)が多い。数えたら約30もある。津山公民館の指定管理も担っているが、何もない(金銭的に)。何かいい考えはないか。	総務部 総務課 教育委員会 生涯学習課	(あて職の内容については、上記の回答と同様です) 担当部署へ確認したところ、「公民館の指定管理者の役員手当等については、指定管理料の積算上、計上していませんが、指定管理者により、支給しているケースもあります。このことから、実態に即した指定管理料となるよう、今後検討していきます。」と回答がありました。
		気仙沼線の維持管理を徹底してほしい。	企画部 市民協働課	JR気仙沼線については、登米市と関係市町及びJR東日本が協議の上、現在の鉄道敷をBRT専用道として整備し、鉄道と遜色ない運行方法によりBRTによる復旧とする方向性が示されました。このことから、今後、JR東日本において、維持管理されるものと考えています。